

2024 年 9 月 9 日

東京都都市整備局長 殿
東京都環境局長 殿

三井不動産株式会社
独立行政法人日本スポーツ振興センター
宗教法人明治神宮
伊藤忠商事株式会社

「神宮外苑地区のまちづくりにおける樹木保全について（要請）」に係る見直し案について

2023 年 9 月 12 日付で要請のありました標記の件について、三井不動産株式会社、独立行政法人日本スポーツ振興センター、宗教法人明治神宮、伊藤忠商事株式会社の 4 社で構成するコンソーシアムでは、本計画エリア全体で一本でも多くの樹木を保全するために、施設計画の工夫等及び既存樹木の 2023 年の調査結果を踏まえた細部にわたる検証を行った上で、協議を重ねてまいりました。この度、樹木の保全に関する具体的な見直し案をとりまとめましたので、その内容について以下の通りご報告いたします。

なお、本内容については、本日プロジェクトサイトにて公表の上、報道各社への説明を実施いたします。

見直し案の概要

1. 再開発後の樹木本数の増加

本計画における 3m 以上の樹木の本数は、当初計画では再開発前の 1,904 本から、再開発後は 94 本増加し 1,998 本としていましたが、今回の以下見直し等により、再開発後は 400 本増加し 2,304 本となります。（増加する 400 本は、伐採本数減少 124 本、今回の新植本数増加 261 本、当初計画での樹木増加 94 本の合計から、枯損等 79 本を差し引いた本数となります。）

(1) 施設計画の工夫等による伐採本数の削減等

新ラグビー場及び聖徳記念絵画館前事業計画における施設計画の工夫や 2023 年に実施した毎木調査に基づく保存もしくは移植への見直しのほか、既存樹木の枯損等（※1）により、伐採樹木は当初計画の 743 本から 124 本減少し 619 本となります。

(2) 新植本数の増加

緑化計画の深度化に伴い、新植樹木は当初計画の 837 本から 261 本増加し 1,098 本となります。

2. 新野球場棟のセットバック幅の拡大

いちよう並木の歩道縁石から新野球場棟地下躯体までの距離（以下「セットバック幅」という。）について、2023 年と 2024 年の 2 回のいちよう並木の根系調査により根の太さ・本数・長さを調べた結果を踏まえ、セットバック幅を当初計画の約 8m から約 10.3m 拡大し、約 18.3m に設定する方針といたします。これにより、いちようを保全するためのより良い生育環境の充実に図ることができます。なお、本方針については、複数の樹木匠等の専門家の意見を基に、調査方法の検討や結果分析を行い、さらに第三者からのセカンドオピニオンを得た上で、決定に至っております。

※1 「枯損等」とは、立ち枯れや腐朽等により、安全管理上撤去する必要がある樹木を指します。

以上